

株式会社 お佛壇のやまき

1 会社概要

- 所在地：静岡市葵区本通8-41-1
- 従業員数：32名(男性15名、女性17名)
- 事業概要：卸売・小売業（仏壇・墓石販売）

2 取組のきっかけ

社長がファミリー・フレンドリーの概念を学ぶ機会があり、素晴らしいことであると理解した。

同じ時期に、営業成績の良い社員と悪い社員の差が目立っており、営業成績の良い社員の接客は顧客満足度も高かった。このような社員の働き方を見ると、残業をせずに定時に帰る社員が多く、そのような社員は家族を大切にしていることがわかった。

これをきっかけに、自社の経営を支えていく手段として、ワーク・ライフ・バランスを推進しようと社長が決意した。

3 取り組んだ事項

(1) 家族と過ごす時間を増やすことに配慮した勤務時間の設定

自社が販売する商品は家族との絆を確認する財として購入するお客様が多いと認識。従業員が温かな家族の在り方を理解しマニュアルでは表現しきれないお客様が家族を思う気持ちに寄り添った接客を実現するために、従業員が家族と過ごす時間を最大化するべく、働き方の見直しに着手。

○土日メインのシフト勤務の中、週休の2日間（火曜定休）はできるだけ連休としている。

○家族の行事などがあれば土日の週休取得についても配慮。

○労働条件に関しては、従業員が集まる会議や日常のコミュニケーションの中で随時希望を聞き、努めてそれに対応するようにしている。

(2) 年次有給休暇の取得を推進するための取組

○各従業員の年次有給休暇を9割以上取得できるように業務の見直しを進めた。

①休暇を取らないと給与査定に反映。啓発ではなく仕組みでモチベーションを保つ。

②全員を多能工化。休暇を取りやすい職場環境に改めるために、従来一定のスキルを持った社員が処理していた専門的な作業を次々と廃止し、全ての社員が幅広く行えるよう作業内容を標準化した。

③計画的付与制度を導入し、年次有給休暇のうち3日を夏季休暇に充て、合計5日から6日の連続休暇をとっている。

④ファミリー休暇制度 家族行事（旅行等）の目的で、年次有給休暇、休日等で5日以上連続休暇をとった場合、家族イベント手当（3～5万円）を支給している。

⑤年次有給休暇の半日取得を認めている。

○過半数の従業員が有給休暇9割取得を達成したため、平成23年からは、120%取得（24日間取得）の目標を新たに定めた。

①有給休暇を100%（20日間）取得したらボーナスポイントとして20%（4日分の有給休暇）を付与し、金一封を支給する。実績が伴っていて、家族から好評を得ている。

(3) 時間外労働時間削減の取組

○1箇月当たりの時間外労働時間を10時間以内に制限している。

毎日の定時退社を徹底推進。退社時刻は店を閉めた時間でチェック。早朝（始業時間の30分以上前）出勤がないかも確認し、それ以前の出勤を行わないよう徹底す

る。

このために、社内システムの改良から、出かける前の「ついで用の」がないか等社員同士のコミュニケーションで解決できることまで、生産性向上の工夫を数多く行った。

例：従業員個々の能力を十分に発揮できる職場づくり

限られた時間内で成果をあげるため、チームセールスを実施。チームでの仕事を推進するため、チームセールスを給与の査定項目に入れた。店舗ごとに成果を計り、店の実績に応じて、社員、パートともに同額の賞与（達成手当）を支払う。

(4) 短時間勤務制度

子育て中の主婦が育児に支障のない時間帯で勤務できるようにするために、昨年度から、「週休3日の9:00~16:00」の勤務パターン（パート）を新設。土日が書き入れ時である中、子どもと過ごす時間を作るため、週休3日のうち、1日は土日のどちらかを選べるようにしている。

(5) 職種転換制度

希望すれば、社員からパート、パートから社員への職種転換が随時可能。

3 取組結果等

- 全員を多能工化した結果、1人の休暇取得者が出ても店舗運営に支障がないように改善され、年次有給休暇の取得率は、平成22年実績で過半数の社員が90%を達成し、従業員一人当たり72.4%となった。
- 時間外労働時間の削減については、社員一人ひとりが作業の効率性を高めるようになり、結果的に小売部門において1人当たりの1日平均残業時間が15分で、1箇月に換算すると約5時間に改善され、目標を達成した。
- 短時間勤務のパート募集において、予想を超える応募があり、優秀な人材を獲得できた。
- 雇用管理全般においてワーク・ライフ・バランス推進とそれによる業績向上に配慮した結果、生産性向上、売上向上に繋がっている。また、優秀な人材が増えてきている。